

2025年度 電線需要見通し改訂概要

2025年9月
調査統計専門委員会

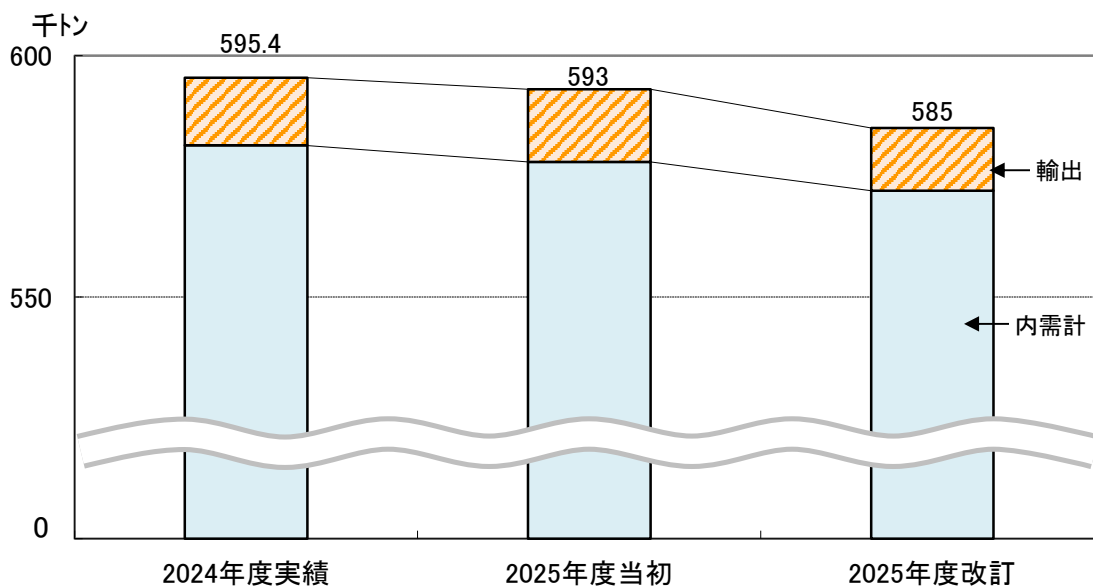
1. 2025年度需要見通しの前提

2025年度日本経済の見通し(前年度比%)

	当初	改訂
実質GDP成長率	+1.1%	+0.7%
民間最終消費支出	+0.9%	+0.8%
民間企業設備投資	+2.0%	+2.5%
民間住宅投資	-0.1%	-1.3%
鉱工業生産指数	+1.9%	+0.3%

※民間シンクタンク14機関平均

2. 2025年度電線需要改訂予測結果



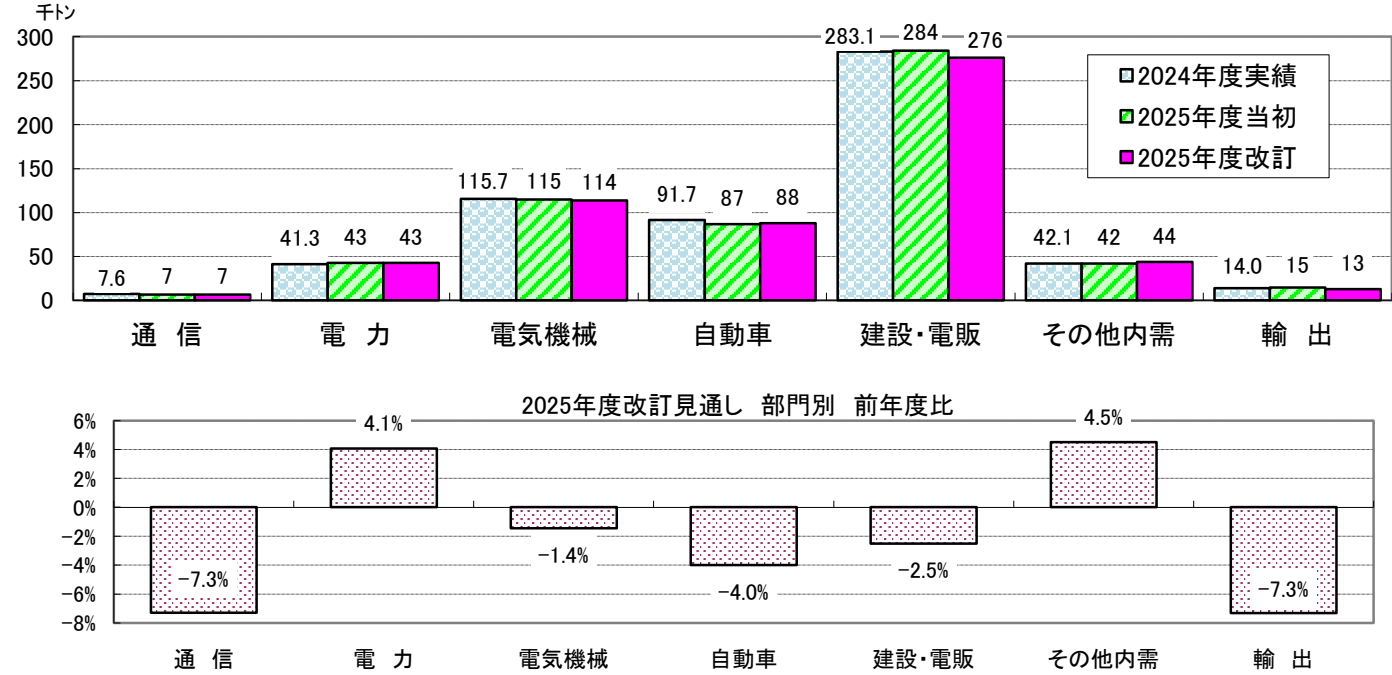
単位: 千トン

銅 電 線	2024年度実績	2025年度当初	2025年度改訂	前年度比
内 需	581.4	578	572	-1.6%
輸 出	14.0	15	13	-7.3%
合 計	595.4	593	585	-1.8%

単位: 千トン

ア ル ミ 電 線	2024年度実績	2025年度当初	2025年度改訂	前年度比
合 計	24.2	25	26	7.6%

3. 2025年度各需要部門別出荷見通し



部	門	コメント
通	信	通信インフラ環境の光化進展により、メタルケーブルの需要は減少とみて、当初見通し据え置き、2024年度比－7.3%と予測。
電	力	施工人員不足による工事制約はあるが、電力会社での設備更新に加えデータセンター、半導体工場への供給需要を見込み、当初据え置き、2024年度比＋4.1%と予測。
電 気 機 械		電子・通信部門は堅調に推移しているが、電装品部門が振るわず、当初比減、2024年度比－1.4%と予測。
重	電	回転機器、変圧器向けの需要を見込み、当初据え置き、2024年度比＋1.9%と予測。
家	電	個人消費に力がなく、当初据え置き、2024年度比－6.3%と予測。
電 子 ・ 通 信		電子機器の小型化や電子回路の集積化などによる需要減はあるが、半導体製造装置市場、FAロボット、医療、DX関連需要はあるとみて、当初据え置き、2024年度比－0.6%と予測。
電 装 品		国内自動車生産台数の減産に伴い需要が減少、当初比減、2024年度比－2.4%と予測。
自 動 車		米国関税の影響により米国生産へのシフトや景気の悪化、また中国による鉱物輸出規制などの影響により生産台数は昨年を下回るとみて、電線需要は当初比増ながら、2024年度比－4.0%と予測。
建 設 ・ 電 販		設備投資、都市再開発、データセンター、物流倉庫、再生可能エネルギー関連など、需要は底堅いが、労働人口の減少、労働環境改善対応、資材高騰などにより工事の消化に制約があり、当初比減、2024年度比－2.5%と予測。
そ の 他 内 需		モーター向け間接輸出や、再生可能エネルギー関連、民間設備投資の需要増により、当初比増、2024年度比＋4.5%と予測。
輸 出		世界的電力需要、情報量拡大傾向は変わらず、電線・ケーブル需要はあるものの、当初見通しほど出荷が見込めず、当初比減、2024年度比－7.3%と予測。

以上

表1

2025年度電線需要見通し改訂 (総括表)

2025年9月

単位:千トン

区 分 年 度		出 荷			
		銅 電 線		アルミ電線	
		実績及び見通し	前年度比	実績及び見通し	前年度比
2018	(実績)	697.8	1.6%	29.9	5.0%
2019	(実績)	694.2	-0.5%	31.0	3.6%
2020	(実績)	622.6	-10.3%	31.9	2.8%
2021	(実績)	630.4	1.2%	26.4	-17.0%
2022	(実績)	619.6	-1.7%	22.3	-15.5%
2023	(実績)	619.5	0.0%	26.6	19.2%
2024 実 績	上期	297.1	(-1.4%)	11.8	(-12.2%)
	下期	298.4	(-6.3%)	12.4	(-6.3%)
	計	595.4	-3.9%	24.2	-9.3%
2025 当 初 見 通 し	上期	293	(-1.4%)	12	(1.6%)
	下期	300	(0.5%)	12	(-2.8%)
	計	593	-0.4%	25	3.5%
2025 改 訂 見 通 し	上期	291	(-2.0%)	12	(1.6%)
	下期	294	(-1.5%)	14	(13.4%)
	計	585	-1.8%	26	7.6%

(注) 1. ()内は前年同期比を示す。

[KN250910]

2. 四捨五入のため計や比率が合わない場合もある。

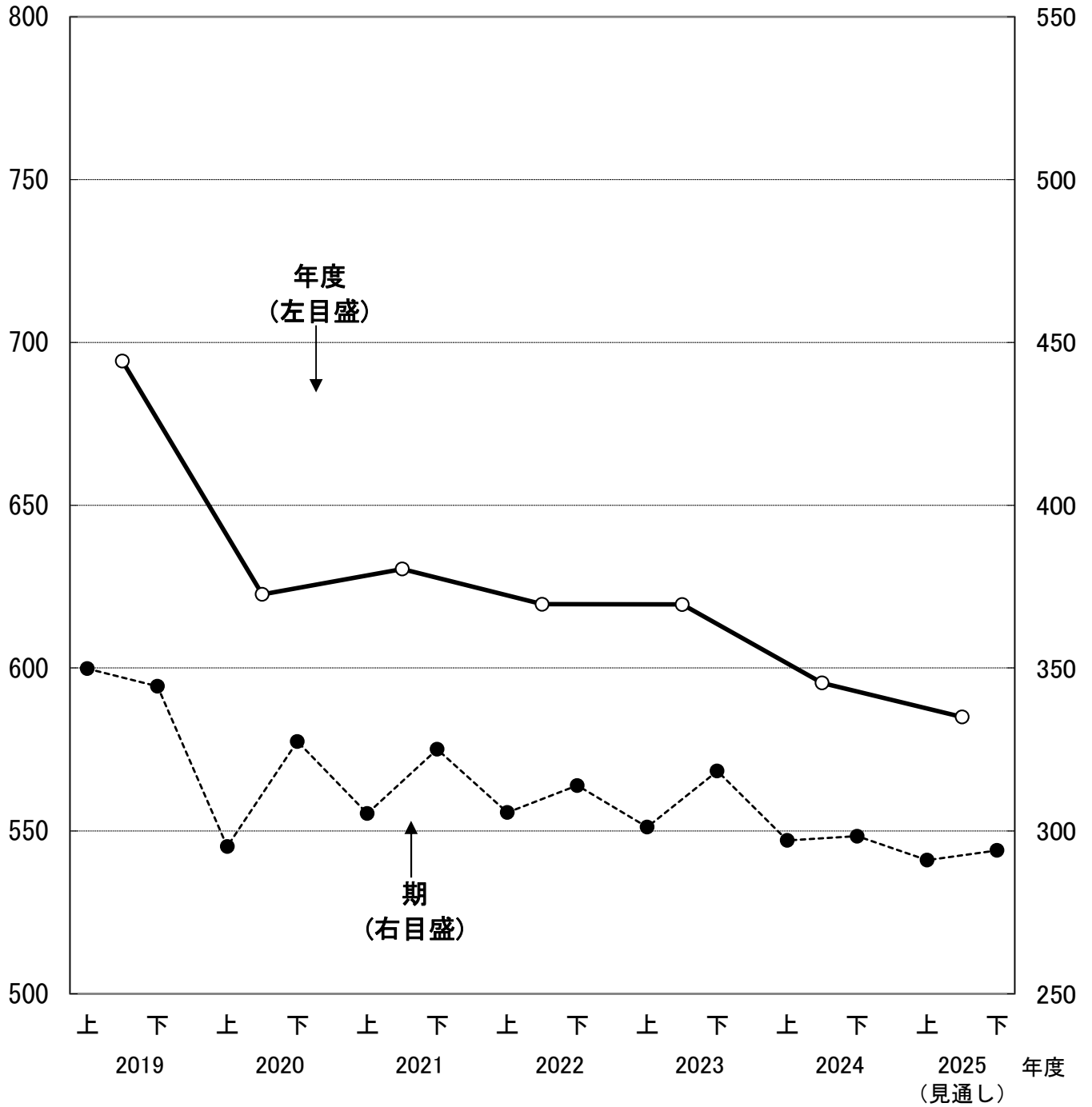
3. 当初…2025年3月、改訂…2025年9月策定のもの。

2025年9月

出荷推移表 (銅電線)

年 度
千トン

上下期
千トン



2025年度電線需要見通し改訂
(主要部門別)

2025年 9月

単位:千トン

年度 期 部 門		出 荷						
		2024 (実績)	2025 (見 通 し)					
			当 初			改 訂		
			上期	下期	計	上期	下期	計
通 信		7.6	3	4	7	3	4	7
電 力		(17.8)	(9)	(9)	(18)	(10)	(9)	(19)
		41.3	22	21	43	21	22	43
電気機械		115.7	58	57	115	58	56	114
重電		15.7			16			16
家電		9.6			9			9
電子・通信		22.1			22			22
電装品		50.2			50			49
その他		18.1			18			18
自 動 車		91.7	43	44	87	46	42	88
建設・電販		283.1	139	145	284	135	141	276
その他内需		(6.0)	(3)	(3)	(6)	(2)	(4)	(6)
		42.1	21	21	42	23	21	44
内 需 計		(23.8)	(12)	(12)	(24)	(12)	(13)	(25)
		581.4	286	292	578	286	286	572
輸 出		(0.3)	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)
		14.0	7	8	15	5	8	13
合 計		(24.2)	(12)	(12)	(25)	(12)	(14)	(26)
		595.4	293	300	593	291	294	585

(注) 1. ()内はアルミ電線を示し外数。

[KN250910]

2. 四捨五入のため、計や比率が合わない場合もある。

3. 当初…2025年3月、改訂…2025年9月策定のもの。

2029年度 中期電線需要見通し概要

2025年9月
調査統計専門委員会

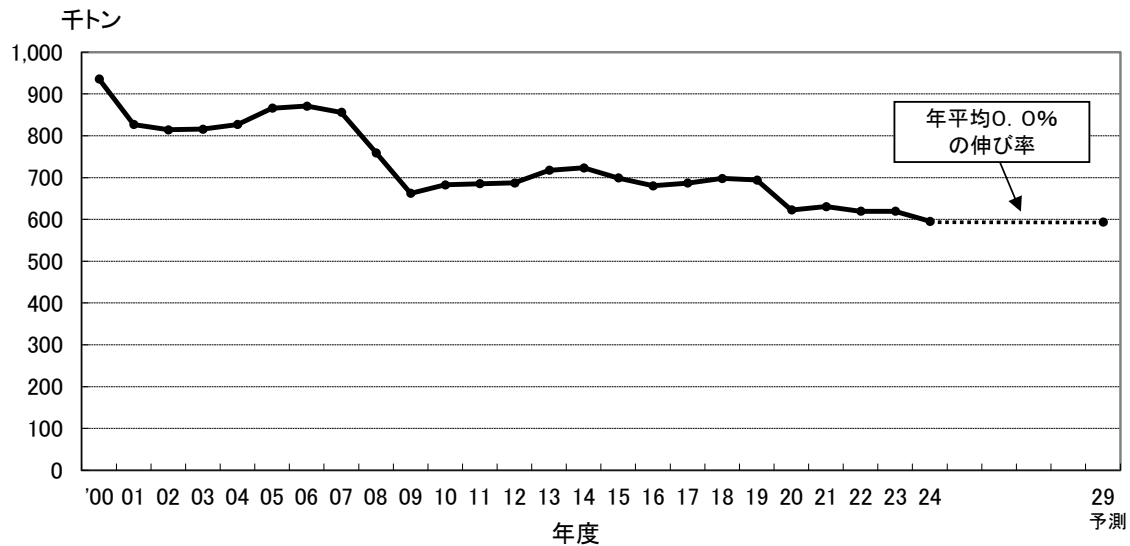
1. 2029年度中期需要見通しの前提

2024～2029年度日本経済の見通し(年平均伸び率%)

実質GDP成長率	+1.0%
民間最終消費支出	+1.0%
民間企業設備投資	+1.9%
民間住宅投資	-0.7%
鉱工業生産指数	+0.8%

※民間シンクタンク2機関平均

2. 2029年度中期電線需要予測結果



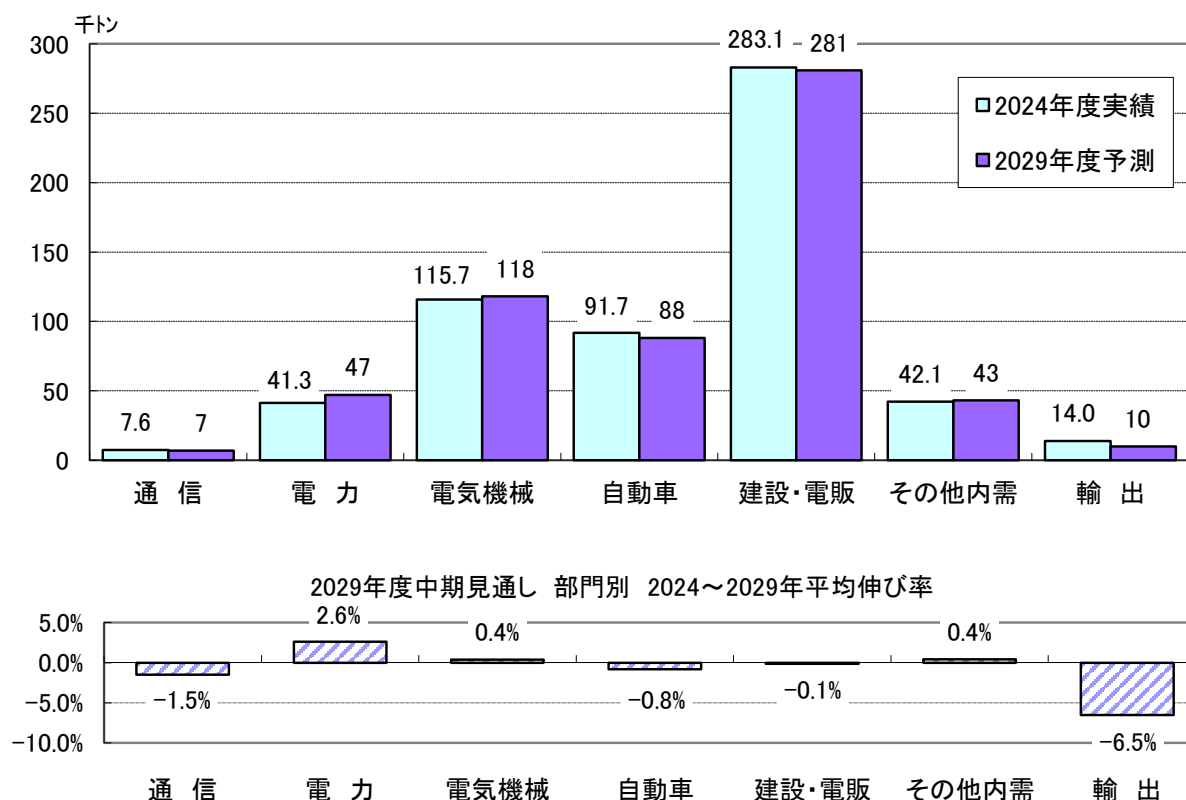
単位: 千トン

銅 電 線	2024年度実績	2029年度予測	24～29年平均伸び率
内 需	581.4	584	0.1%
輸 出	14.0	10	-6.5%
合 計	595.4	594	0.0%

単位: 千トン

ア ル ミ 電 線	2024年度実績	2029年度予測	24～29年平均伸び率
合 計	24.2	28	3.0%

3. 2029年度各需要部門別出荷見通し



部 門	コメ ント
通 信	データセンター等で電力用ケーブルの需要はあるものの、通信インフラ環境の光化進展により、通信用メタルケーブルの需要は伸びないとみて、2024年度～2029年度までの平均伸び率－1.5%と予測。
電 力	経年品の更新や再生可能エネルギー関連、地域間連系線増強、AI普及をにらんだ電力インフラ整備需要が期待され、2024年度～2029年度までの平均伸び率＋2.6%と予測。
電 気 機 械	DXやCASE、IoTの進展に伴う機器の電子化・電動化による需要を見込み、2024年度～2029年度までの平均伸び率＋0.4%と予測。
重 電	再生可能エネルギー関連やAI普及など電力需要の増加による設備新設、また経年品の更新など、底堅い需要を見込み、2024年度～2029年度までの平均伸び率＋0.4%と予測。
家 電	人口減により個人消費の拡大は見込めず、2024年度～2029年度までの平均伸び率－1.3%と予測。
電子・通信	電子機器の小型化や電子回路の集積化により銅電線の使用量は減少も予測されるが、AI、ロボット、医療関連向けのDX需要はあるとみて、2024年度～2029年度までの平均伸び率＋0.8%と予測。
電 装 品	自動車の生産台数は減少とみるが、CASEの進展で電装品分野への電線需要は増とみて、2024年度～2029年度までの平均伸び率＋0.3%と予測。
自 動 車	BEV市場の成長や、世界的な需要増、電子機器類の搭載増など、期待できる要素もあるが、国内においては少子高齢化の進行や、若年層のマイカー所有意識の薄れ等により生産台数は漸減、電線需要は、2024年度～2029年度までの平均伸び率－0.8%と予測。
建 設 ・ 電 販	都市再開発、データセンター等において建設需要は見込まれるが、人手不足による施工能力の問題も継続するとみて、2024年度～2029年度までの平均伸び率－0.1%と予測。
そ の 他 内 需	民間設備投資需要に期待し、2024年度～2029年度までの平均伸び率＋0.4%と予測。
輸 出	電力需要、情報量拡大により世界的需要は拡大と想定する一方で、現地生産化の進展等により、2024年度～2029年度までの平均伸び率－6.5%と予測。

以上

表1

中期電線需要見通し (出荷ベース)

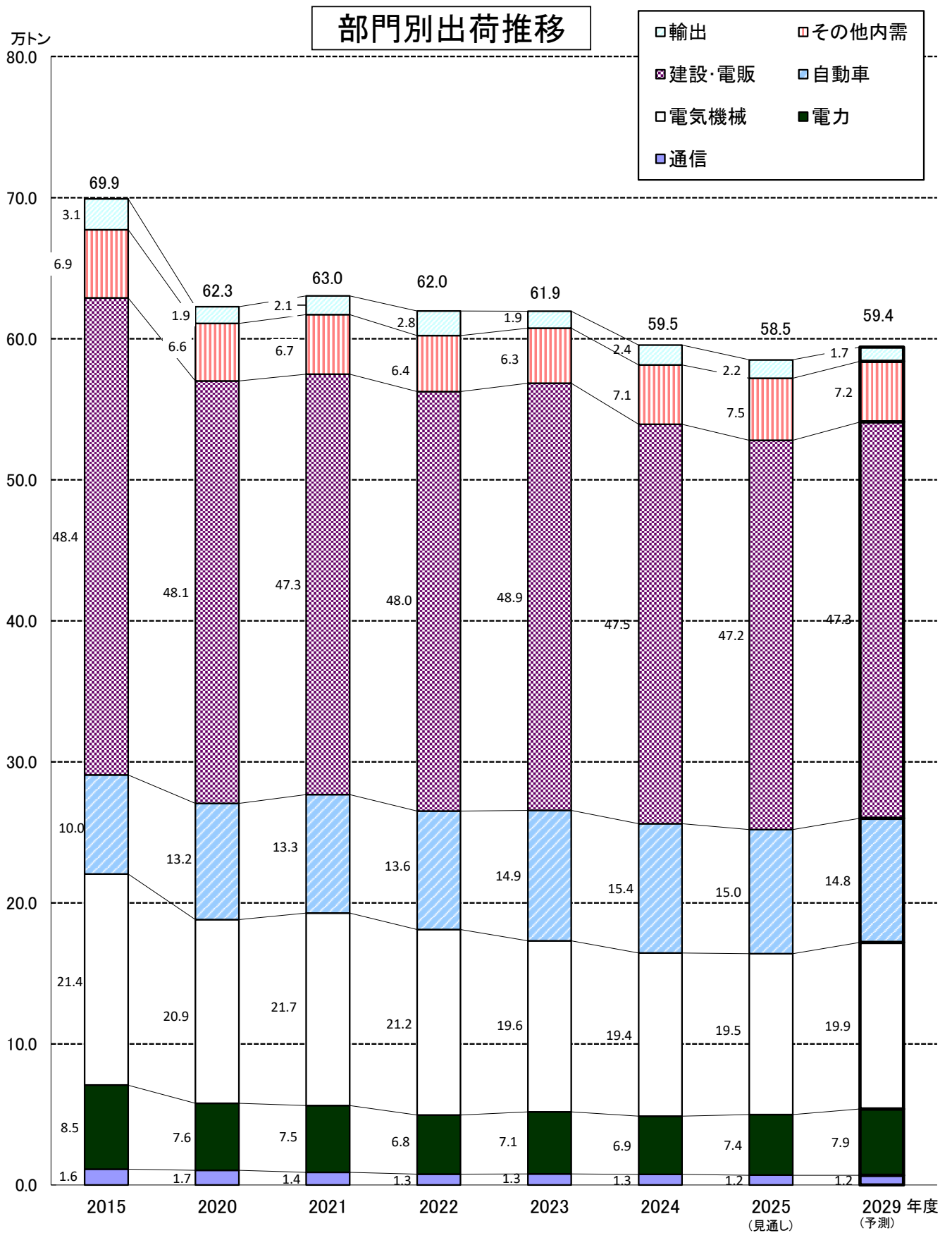
2025年9月
単位:千トン

部 門	年 度	2023	2024		2025		2029		29/24	29/25
		実績	実績	構成比 (%)	見通し 改訂	構成比 (%)	予測	構成比 (%)	年平均 伸び率(%)	年平均 伸び率(%)
通 信		7.8	7.6	1.3	7	1.2	7	1.2	-1.5	0.0
電 力		(17.1) 44.1	(17.8) 41.3	(73.6) 6.9	(19) 43	(73.1) 7.4	(20) 47	(71.4) 7.9	(2.4) 2.6	(1.3) 2.2
電 気 機 械		121.3	115.7	19.4	114	19.5	118	19.9	0.4	0.9
	重 電	17.0	15.7		16		16		0.4	0.0
	家 電	10.0	9.6		9		9		-1.3	0.0
	電子・通信	22.4	22.1		22		23		0.8	1.1
	電 装 品	52.8	50.2		49		51		0.3	1.0
	そ の 他	19.0	18.1		18		19		1.0	1.4
自 動 車		92.4	91.7	15.4	88	15.0	88	14.8	-0.8	0.0
建 設 ・ 電 販		302.9	283.1	47.5	276	47.2	281	47.3	-0.1	0.4
そ の 他 内 需		(7.6) 39.0	(6.0) 42.1	(25.0) 7.1	(6) 44	(23.1) 7.5	(7) 43	(25.0) 7.2	(3.0) 0.4	(3.9) -0.6
内 需 計		(24.7) 607.5	(23.8) 581.4	(98.6) 97.6	(25) 572	(96.2) 97.8	(27) 584	(96.4) 98.3	(2.5) 0.1	(1.9) 0.5
輸 出		(2.0) 12.0	(0.3) 14.0	(1.4) 2.4	(1) 13	(3.8) 2.2	(1) 10	(3.6) 1.7	(24.8) -6.5	(0.0) -6.3
合 計		(26.6) 619.5	(24.2) 595.4	(100.0) 100.0	(26) 585	(100.0) 100.0	(28) 594	(100.0) 100.0	(3.0) 0.0	(1.9) 0.4

[KN250910]

- (注) 1. ()内はアルミ電線を示し外数。
2. 四捨五入のため、計や比が合わない場合がある。

図1



[KN25910]